

厚田区地域協議会 2期目の総括並びに引継ぎ事項

各種団体やグループ活動の中心的存在として常日頃、地域に対し率先して自ら行動し、活躍するメンバー15人が2期目の地域協議会運営を担っていただけたことは、厚田区の地域振興に大きく貢献していただき、1期目とはまた違った形でそれぞれの役割を果たしていただけたものと高く評価しているところです。

皆さんはそれぞれの組織の先頭に立ち地域との係りや委員としての自覚のもと、地域を活性化させようという共通の目標を抱き、共通の認識を持ちながら、それぞれの立場から活発な発言・提案を頂き、3期目につながる2年間の活動であったと振り返っているところです。

その取り組みの成果はすぐに全区民が実感でき、伝わるものではありませんが、一つひとつの積み重ねが、皆さんの活動が、必ず区民に喜ばれるものへと結びつき、「厚田区」「地域自治区」として特色ある地域に生まれ変わるものと確信していますが、このことを区民が実感できるまでには、まだまだ時間を要することと思います。

今後も一步一步特色ある地域づくりの確立に向け将来構想を抱き、地域住民とその構想を共有しながら、計画的・段階的に着実に前進していくことが重要なことであり、実働部隊は区民、区民なくして特色ある地域づくりを進めることはできないということを忘れることなく、あせらず、しっかりと目標を掲げ、地域住民が主体となった地域づくり、協働を意識した取り組み・活動を委員の皆さんと共に歩み、これらの活動が地域と一体となり引き続き行なわれていくよう地域協議会としても、地域住民の夢・想いの実現に向けた応援・支援を行い、これらの基本的な考え方を、目標達成に向け進めて行くことの大切さを、次期委員にも引き継いでいきたいと思っております。

退任される皆さんにおかれましては、今後は地域の実働部隊として厚田にしかない特色ある地域づくりの中心的存在として活躍していただけます事を節にお願いし、2期目の総括とさせていただきます。

【地域振興事業の取り組み・成果と引継ぎ事項】

① あつたライフサポートの会

NPO 法人格取得後、石狩市過疎地有償運送運営協議会を経て、過疎地有償運送許可を取得し、平成 22 年 4 月から有償にて移送事業の展開を目指しており、地域協議会委員はライフサポートの会の賛助会員となりこの活動を支援している。

この会の目的である「住み慣れた厚田の地で、いくつになっても、いつまでも安心して住み続けることができる地域づくり」の後押しをし、引き続きこの活動の動きを見守って行きます。

また、来年度からの有償運送開始に伴い事務用品等の購入が見込まれ、予算措置において地域づくり基金の発動提案が今後想定されるため、地域協議会としても柔軟な対応・協議を進めて行ってほしい。

② あつたの森を支援する会 「やまどり」

会が立ち上がり 2 年目となり、会員間の交流・親睦を中心に活動を進めて来た 1 年目から、市有林の保育・育成事業を始め、植林後の管理が行届かない厚田公園内の箇所事業着手を図るため、協働提案制度の活用に向けた取り組み提案をこの度行なっている。

厚田区の森林を守り、山づくりに寄与し、森林・林業への認識を深めながら、山のすばらしさを多くの人たちと共有することを目的としたこの会本来の活動が徐々に活発な取り組みとなり、今後も地域協議会としてあつたの森を支援するこの会を見守り、後押しして行ってほしい。

③ 体育振興事業

地域振興基金の活用を図り 3 年目の年を迎え、事業を通して区民の健康維持増進や地域間・世代間の交流・親睦が図られ、地域住民の一体感や連帯感を醸成し、自主的・主体的な活動への取り組みが図られることを目的に基金を充当した中で地域協議会委員皆さんの支援をいただきながら、活動が展開され初期の目的である自主的・主体的な取り組みへの気運を導き出すきっかけとなり、目的が達成されたと実感しております

今後は、これまでの 3 年間の活動を基盤とし、基金に頼らず自立した中で厚田区の体育振興事業に取り組むとのことを聞いており、引き続き地域協議会としてその取り組みを温かく見守り応援してほしい。

④ 歴史・文化振興事業

本会は、厚田が輩出した著名人である子母澤寛、戸田城聖、吉葉山潤之輔、佐藤松太郎の四名を中心とした、厚田区の歴史にゆかりのある人物を広く紹介し、豊富な資料の有効活用を図り厚田区の歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に厚田の存在を全道・全国にPRしながら、新たな地域づくり歴史・文化の伝承を図ることを目的とした会である。

現在、来年夏の既存資料室リニューアルオープンを目指し構想の策定に取り組んでおり、ライフサポートの会同様地域づくり基金の発動提案が今後想定され、地域協議会としても柔軟な対応・協議を進めて行ってほしい。

⑤ 厚田区が目指すこれからの姿（目標の設定）

厚田区では地域振興事業の一環として、それぞれの団体が活動を進めておりますが、地域全体がその団体・組織の活動を十分理解した取り組みに至っていない状況です。

こうした現状を改善するため、区として大きな目標を掲げることにより、一人ひとりが地域づくりを意識し・考え、地域住民全体で地域振興を図り、理想とした地域づくりに結びつくものと考え、現在協議検討を行なっているところです。

また、この目標を掲げることで、地域住民全体が厚田区の地域づくりにもたらす成果・影響力を十分に理解することができ、共通の認識の中で取り組むことがそれぞれが進めている団体・組織活動の点から線へ、さらに大きな円へと導き、目標達成時における全区民の喜び・実感に変わるものと考え、現在その具体的手法は何かを模索しております。

そのひとつとして「コミュニテースクール（教育特区）」が話題となっており、具体的にこの取り組みが厚田区をどう変えることとなるのか、地域にもたらす影響力は・・・などを検証しているところであり、あわせてこの事業に取り組むためには、学校運営協議会、地域住民で組織する実働部隊の動き・役割が特色ある地域づくりや目標の達成に大きく左右するものと考えます。

今後は区として目標設定を進めるうえで、地域協議会での議論はもとより、今まで以上にそれぞれの委員さんが地域に情報を発信し伝え広め、理解を求め、地域住民が区としての共通の目標として認識できるよう地域協議会委員が一体となり行動を押し進めることがさらに求められており、引き続き委員全体で検討を進めながら、区の大きな目標の確立とその実現に向けた動きを3期目の委員さんに推し進めていってほしいと多いに期待しながら、以上引き継ぎ事項と致します。